



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 マツダ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7261 URL <http://www.mazda.com/ja/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小飼 雅道

問合せ先責任者 (役職名) 財務本部 経理部長 (氏名) 竹多 政博

TEL 082-282-1111

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

平成29年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家・メディア向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	1,656,627	7.1	76,480	13.4	96,465	16.8	63,338	12.9
29年3月期第2四半期	1,546,339	9.1	88,318	29.8	82,620	31.7	56,094	36.5

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 70,742百万円 (129.9%) 29年3月期第2四半期 30,769百万円 (63.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	105.95	105.93
29年3月期第2四半期	93.83	93.83

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,585,005	1,122,799	42.4
29年3月期	2,524,552	1,064,038	41.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 1,096,701百万円 29年3月期 1,039,421百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		15.00		20.00	35.00
30年3月期		15.00			
30年3月期(予想)				20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,350,000	4.2	150,000	19.3	163,000	16.8	100,000	6.6	163.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想の1株当たり当期純利益につきましては、平成29年10月2日を払込期日とする第三者割当増資による発行済株式数の増加分31,928,500株を考慮し算定しております。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 有  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)12ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	599,875,479 株	29年3月期	599,875,479 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	2,056,883 株	29年3月期	2,059,416 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	597,817,677 株	29年3月期2Q	597,817,180 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間	
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第2四半期連結会計期間	
四半期連結損益計算書 .....	8
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報等) .....	13
(重要な後発事象) .....	14

※ 参考資料 平成30年3月期 第2四半期 決算参考資料(連結)

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、中期経営計画「構造改革ステージ2」（平成29年3月期～平成31年3月期）の下、「走る歓び」と「優れた環境・安全性能」を両立する魅力ある商品をお届けするとともに、全領域でビジネスの質的成長を目指し、ブランド価値のさらなる向上に向けて取り組んでおります。

当社は、さらに多くのお客さまへ、より安全・安心なクルマをお届けするため、平成29年度中に日本国内で販売する主要5車種へ先進安全技術「i-ACTIVSENSE」を標準装備することを公表しております。当第2四半期連結会計期間において、新型「マツダ CX-5」、「マツダ アテンザ（海外名：Mazda6）」、「マツダ アクセラ（海外名：Mazda3）」の3車種に標準装備化を実施したことにより、5車種全てで完了しました。また、9月には、新型「マツダ CX-8」の予約受注を開始いたしました。新型「CX-8」は、日本のSUVラインアップにおける最上位モデルで、多人数乗用車の新たな選択肢として当社が提案する3列シートクロスオーバーSUVです。今後も、人間を中心に考えた安全技術の研究・開発に取り組み、すべてのお客さまに「走る歓び」と「優れた環境・安全性能」を持つ商品をお届けすることで、お客さまの人生をより豊かにし、お客さまとの間に特別な絆を持つブランドを目指してまいります。

当第2四半期連結累計期間のグローバル販売台数は、グローバルで販売が本格化した新型「CX-5」や中国市場における「マツダ CX-4」などのクロスオーバー系車種が販売を牽引したことにより、前年同期比1.0%増の783千台となりました。

市場別の販売台数は、次のとおりです。

#### <日本>

導入以来好調な販売が続く新型「CX-5」の寄与により、前年同期比4.0%増の96千台となりました。また、9月より開始しました新型「CX-8」の予約受注も好調となっております。

#### <北米>

米国は、主にフリート販売の減少により、前年同期比5.3%減の151千台となりました。車種別では、新型「CX-5」等のクロスオーバー系車種の販売が順調であった一方で、厳しい販売環境が続くセダン系車種の販売が減少しました。北米全体では、メキシコなどで販売が増加したものの、前年同期比2.5%減の219千台となりました。

#### <欧州>

主要市場であるドイツや需要回復が見られるロシアで販売が増加したものの、英国などで販売が減少したことにより、前年同期比1.6%減の132千台となりました。車種別では、5月以降各国に順次投入した新型「CX-5」の販売が本格化しております。

#### <中国>

「Mazda3」や「CX-4」の販売が引き続き好調であったことに加え、「Mazda6」が前年を上回る販売となったことにより、前年同期比11.9%増の149千台となりました。また、9月に市場導入した新型「CX-5」も順調な滑り出しとなっております。

#### <その他の市場>

その他の市場全体では、前年同期比1.9%減の187千台となりました。主要市場のオーストラリアでは、前年同期比1.4%減の59千台となりましたが、4月に導入した新型「CX-5」の販売は好調に推移しております。ASEAN市場においては、タイで販売が好調であったものの、ベトナムなどで販売が減少しました。その他の地域においては、ニュージーランドやチリなどで過去最高の販売を記録しました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は、為替相場の円安影響等により、1兆6,566億円（前年同期比1,103億円増、7.1%増）となりました。営業利益は、出荷台数の減少や将来の成長に向けた研究開発費用の増加等により、765億円（前年同期比118億円減、13.4%減）となりました。経常利益は965億円（前年同期比138億円増、16.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は633億円（前年同期比72億円増、12.9%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

日本は売上高が1兆3,637億円（前年同期比880億円増、6.9%増）、セグメント別営業利益（以下、営業利益）は506億円（前年同期比111億円増、28.1%増）となりました。北米は売上高が6,861億円（前年同期比605億円増、9.7%増）、営業利益は127億円（前年同期比14億円減、9.8%減）、欧州は売上高が3,407億円（前年同期比335億円増、10.9%増）、営業利益は36億円（前年同期比15億円増、68.1%増）、その他の地域は売上高が3,141億円（前年同期比318億円増、11.3%増）、営業利益は112億円（前年同期比26億円減、18.7%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より605億円増加し、2兆5,850億円となり、負債合計は、前連結会計年度末より17億円増加し、1兆4,622億円となりました。有利子負債は、前連結会計年度末より65億円増加し、4,979億円となりました。

純資産は、前連結会計年度末より588億円増加し、1兆1,228億円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末より1.2ポイント増加し、42.4%（劣後特約付ローンの資本性考慮後43.8%）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より298億円増加し、5,567億円となりました。

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益874億円等により、892億円の増加（前年同期は808億円の増加）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出502億円等により、555億円の減少（前年同期は121億円の減少）となりました。これらの結果、連結フリー・キャッシュ・フロー（営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計）は、337億円の増加（前年同期は686億円の増加）となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等により124億円の減少（前年同期は686億円の減少）となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の連結業績予想につきましては、平成29年4月28日に公表しました連結業績予想から変更はありません。なお、足下の業績動向等を踏まえ、前提為替レートを見直すとともに、主に米国での販売環境悪化に伴う台数影響や販売費用の増加見通しを反映しております。

為替レート及びグローバル販売台数の見通しは、以下のとおりです。

為替レート

通期：1米ドル 110円、1ユーロ 127円  
 （第3四半期以降：1米ドル 108円、1ユーロ 128円）

グローバル販売台数の見通し

	通期	前期比
日本	213千台	5.2%
北米	443千台	3.3%
欧州	267千台	2.2%
中国	292千台	0.3%
その他	384千台	2.5%
合計	1,600千台	2.6%

※ 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しで、リスクや不確実性を含んでおり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を行うことは控えるようお願いいたします。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート等が含まれます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	398,101	389,729
受取手形及び売掛金	215,788	214,394
有価証券	128,900	167,300
たな卸資産	376,951	398,065
その他	223,449	203,495
貸倒引当金	△818	△824
流動資産合計	1,342,371	1,372,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	184,607	188,940
機械装置及び運搬具(純額)	259,008	262,324
土地	409,894	408,372
リース資産(純額)	5,254	4,583
その他(純額)	100,562	104,479
有形固定資産合計	959,325	968,698
無形固定資産	33,242	34,520
投資その他の資産		
投資有価証券	147,438	139,563
退職給付に係る資産	3,629	4,311
その他	41,412	66,421
貸倒引当金	△2,865	△667
投資その他の資産合計	189,614	209,628
固定資産合計	1,182,181	1,212,846
資産合計	2,524,552	2,585,005

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	388,880	384,714
短期借入金	124,454	124,896
1年内返済予定の長期借入金	89,997	83,754
リース債務	2,125	2,030
未払法人税等	13,450	16,695
未払費用	189,249	203,665
製品保証引当金	123,455	104,422
その他	64,419	64,478
流動負債合計	996,029	984,654
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	251,248	264,260
リース債務	3,610	2,983
再評価に係る繰延税金負債	64,715	64,682
関係会社事業損失引当金	529	590
環境対策引当金	677	585
退職給付に係る負債	72,888	70,653
その他	50,818	53,799
固定負債合計	464,485	477,552
負債合計	1,460,514	1,462,206
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	258,957	258,957
資本剰余金	239,909	239,910
利益剰余金	445,353	496,810
自己株式	△2,231	△2,229
株主資本合計	941,988	993,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,913	5,047
繰延ヘッジ損益	1,188	△1,108
土地再評価差額金	145,944	145,869
為替換算調整勘定	△33,812	△28,067
退職給付に係る調整累計額	△19,800	△18,488
その他の包括利益累計額合計	97,433	103,253
新株予約権	91	183
非支配株主持分	24,526	25,915
純資産合計	1,064,038	1,122,799
負債純資産合計	2,524,552	2,585,005

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	1,546,339	1,656,627
売上原価	1,166,749	1,263,259
売上総利益	379,590	393,368
販売費及び一般管理費	291,272	316,888
営業利益	88,318	76,480
営業外収益		
受取利息	1,492	1,759
持分法による投資利益	14,847	17,363
為替差益	-	5,154
その他	2,619	2,777
営業外収益合計	18,958	27,053
営業外費用		
支払利息	5,086	3,792
為替差損	13,280	-
その他	6,290	3,276
営業外費用合計	24,656	7,068
経常利益	82,620	96,465
特別利益		
固定資産売却益	191	822
投資有価証券売却益	20	65
その他	10	12
特別利益合計	221	899
特別損失		
固定資産除売却損	1,434	1,104
減損損失	447	1,102
関係会社事業損失引当金繰入額	117	61
訴訟和解金	-	7,557
事業構造改善費用	4,647	-
その他	-	120
特別損失合計	6,645	9,944
税金等調整前四半期純利益	76,196	87,420
法人税、住民税及び事業税	9,422	19,745
法人税等調整額	9,155	3,054
法人税等合計	18,577	22,799
四半期純利益	57,619	64,621
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,525	1,283
親会社株主に帰属する四半期純利益	56,094	63,338



## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	57,619	64,621
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△807	1,126
繰延ヘッジ損益	1,587	△2,308
為替換算調整勘定	△14,301	5,925
退職給付に係る調整額	1,068	1,294
持分法適用会社に対する持分相当額	△14,397	84
その他の包括利益合計	△26,850	6,121
四半期包括利益	30,769	70,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,865	69,233
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,096	1,509

(第2四半期連結会計期間)  
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
売上高	770,135	854,572
売上原価	580,720	655,873
売上総利益	189,415	198,699
販売費及び一般管理費	153,536	162,151
営業利益	35,879	36,548
営業外収益		
受取利息	736	852
持分法による投資利益	6,583	8,463
為替差益	266	734
その他	894	1,532
営業外収益合計	8,479	11,581
営業外費用		
支払利息	2,246	1,864
その他	4,420	2,229
営業外費用合計	6,666	4,093
経常利益	37,692	44,036
特別利益		
固定資産売却益	26	327
その他	91	27
特別利益合計	117	354
特別損失		
固定資産除売却損	969	722
減損損失	62	228
関係会社事業損失引当金繰入額	4	28
訴訟和解金	-	6,401
その他	-	120
特別損失合計	1,035	7,499
税金等調整前四半期純利益	36,774	36,891
法人税、住民税及び事業税	2,186	8,530
法人税等調整額	△1,293	1,340
法人税等合計	893	9,870
四半期純利益	35,881	27,021
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,017	287
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,864	26,734

## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	35,881	27,021
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	430	661
繰延ヘッジ損益	△924	964
為替換算調整勘定	△2,091	4,569
退職給付に係る調整額	667	736
持分法適用会社に対する持分相当額	△10,006	991
その他の包括利益合計	△11,924	7,921
四半期包括利益	23,957	34,942
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,745	34,464
非支配株主に係る四半期包括利益	212	478

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	76,196	87,420
減価償却費	39,446	43,090
減損損失	447	1,102
貸倒引当金の増減額(△は減少)	136	64
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△1,398	△19,033
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	117	61
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,582	△1,685
受取利息及び受取配当金	△1,694	△2,025
支払利息	5,086	3,792
持分法による投資損益(△は益)	△14,847	△17,363
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,233	282
売上債権の増減額(△は増加)	△5,738	6,883
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,703	△11,856
仕入債務の増減額(△は減少)	△13,459	△6,717
その他の流動負債の増減額(△は減少)	7,460	16,604
その他	14,790	△18,994
小計	102,490	81,625
利息及び配当金の受取額	16,001	27,577
利息の支払額	△5,602	△4,619
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△32,129	△15,365
営業活動によるキャッシュ・フロー	80,760	89,218
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	26,928	△220
有価証券の純増減額(△は増加)	3,000	-
投資有価証券の取得による支出	△216	△556
投資有価証券の売却及び償還による収入	291	643
有形固定資産の取得による支出	△40,944	△50,162
有形固定資産の売却による収入	2,752	2,097
無形固定資産の取得による支出	△3,945	△5,349
短期貸付金の純増減額(△は増加)	23	-
長期貸付けによる支出	△252	△123
長期貸付金の回収による収入	496	91
その他	△261	△1,934
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,128	△55,513

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	8,118	△5,728
長期借入れによる収入	80,100	71,595
長期借入金の返済による支出	△146,459	△65,098
社債の償還による支出	△350	-
セール・アンド・リースバックによる収入	70	98
リース債務の返済による支出	△1,008	△1,139
配当金の支払額	△8,967	△11,956
非支配株主への配当金の支払額	△122	△125
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2	3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△68,620	△12,350
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,258	8,446
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△16,246	29,801
現金及び現金同等物の期首残高	568,714	526,864
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	4,790	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	557,258	556,665

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

米国会計基準を採用している海外連結子会社において、「繰延税金の貸借対照表上の分類」(米国財務会計基準審議会会計基準アップデート(ASU)第2015-17号 平成27年11月20日)を第1四半期連結会計期間から早期適用し、従来連結貸借対照表において流動区分及び固定区分に別個に表示していた繰延税金資産及び負債を固定区分に分類する方法へ変更しております。当該会計基準の適用は、第1四半期連結会計期間から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、流動資産の「その他」が21,351百万円減少し、固定資産の投資その他の資産における「その他」が同額増加しております。なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	その他 の地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	471,046	517,441	299,468	258,384	1,546,339	—	1,546,339
セグメント間の内部 売上高又は振替高	804,610	108,195	7,762	23,874	944,441	△944,441	—
計	1,275,656	625,636	307,230	282,258	2,490,780	△944,441	1,546,339
セグメント利益	39,460	14,112	2,159	13,799	69,530	18,788	88,318

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	北米	欧州	その他 の地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	475,797	563,062	332,792	284,976	1,656,627	—	1,656,627
セグメント間の内部 売上高又は振替高	887,881	123,061	7,924	29,112	1,047,978	△1,047,978	—
計	1,363,678	686,123	340,716	314,088	2,704,605	△1,047,978	1,656,627
セグメント利益	50,552	12,724	3,630	11,219	78,125	△1,645	76,480

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

## (重要な後発事象)

当社は、平成29年8月4日開催の取締役会において、トヨタ自動車株式会社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議し、平成29年10月2日に払込が完了いたしました。

## 第三者割当増資（新株発行）の概要

発行株式の種類	当社普通株式
募集方法	第三者割当
割当先	トヨタ自動車株式会社
発行新株式数	31,928,500株
発行価額の総額	50,000,031,000円
発行価格	1株につき1,566円
資本組入額の総額	25,000,015,500円
払込期日	平成29年10月2日
調達資金の用途	米国での完成車の生産合弁会社の設立に係る設備投資資金の一部に充当



平成30年3月期 第2四半期 決算参考資料 (連結)

平成29年11月2日  
マツダ株式会社

(単位：千台/億円)

(左肩：売上高利益率)			平成29年3月期 第2四半期累計 (H28.4~H28.9)		第1四半期		第2四半期		平成30年3月期 第2四半期累計 (H29.4~H29.9)		平成29年3月期 (H28.4~H29.3)		平成30年3月期 通期予想 (H29.4~H30.3)	
売上高	国内	1	2,654	△21.8	1,302	1,533	2,835	+6.8	5,870	△11.2	6,220	+6.0		
	海外	2	12,809	△5.9	6,719	7,012	13,731	+7.2	26,274	△4.3	27,280	+3.8		
	計	3	15,463	△9.1	8,021	8,545	16,566	+7.1	32,144	△5.6	33,500	+4.2		
営業利益		4	883	△29.8	399	366	765	△13.4	1,257	△44.6	1,500	+19.3		
経常利益		5	826	△31.7	524	441	965	+16.8	1,395	△37.6	1,630	+16.8		
税引前四半期(当期)純利益		6	762	△34.5	505	369	874	+14.7	1,284	△23.1	1,500	+16.8		
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益		7	561	△36.5	366	267	633	+12.9	938	△30.2	1,000	+6.6		
セグメント(所在地)別営業利益														
	日本	8	395		204	302	506		659					
	北米	9	141		71	56	127		267					
	欧州	10	22		14	22	36		54					
	その他の地域	11	138		50	62	112		202					
営業利益変動要因														
	台数・車種構成	12			△130	△70	△200						△200	
	為替	13			+3	+156	+159						+358	
	コスト改善	14			+8	△2	+6						+100	
	研究開発費	15			△62	△7	△69						△131	
	その他	16			+56	△70	△14						+116	
	計	17			△125	+7	△118						+243	
為替レート (円)	売上	USドル	18	105		111	111	111		108		110		
		ユーロ		118		122	130	126		119		127		
	入金	USドル	19	103		111	111	111		107		109		
		ユーロ		119		123	127	125		118		126		
設備投資		20	358		251	215	466		944		1,200			
減価償却費		21	394		216	215	431		824		870			
研究開発費		22	588		351	306	657		1,269		1,400			
総資産		23	29,194		25,393		25,850		25,246					
自己資本		24	9,788		10,622		10,967		10,394					
有利子負債残高		25	5,400		4,951		4,979		4,914					
純有利子負債残高		26	△172		△207		△587		△354					
フリー・キャッシュ・フロー		27	686		△5	342	337		973					
グローバル販売台数	日本	28	93	△23.0	41	55	96	+4.0	203	△12.8	213	+5.2		
	北米	29	224	△3.7	106	112	219	△2.5	429	△2.1	443	+3.3		
	欧州	30	134	+8.3	64	68	132	△1.6	262	+2.0	267	+2.2		
	中国	31	133	+21.9	71	78	149	+11.9	292	+24.1	292	+0.3		
	その他	32	191	+7.2	94	92	187	△1.9	373	+0.6	384	+2.5		
	計	33	775	+1.4	377	406	783	+1.0	1,559	+1.6	1,600	+2.6		
連結出荷台数		34	622	△3.8	297	315	611	△1.6	1,265	△3.2	1,275	+0.8		
グローバル生産台数	国内	35	468	△1.8	227	241	468	△0.1	965	△2.5	993	+3.0		
	海外	36	290	△0.3	150	150	300	+3.4	627	+7.8				
	計	37	758	△1.2	377	391	768	+1.3	1,592	+1.3				

※ グローバル販売台数：マツダブランド名で販売される全世界小売台数であります。

※ 連結出荷台数：他社ブランドで販売される車両の台数を含めておりません。

※ グローバル生産台数：国内工場とメキシコ工場で生産される台数（他社ブランド含む）に加え、その他海外工場（主に中国、タイ）においてマツダブランド名で生産される台数であります。